



たかなし

校訓「尚志」「知新」

第8号 令和4年5月2日



「高梨っ子チャンネル」いかがでしたか？！

連休初日に配信された「高梨っ子チャンネル」ご視聴いただけましたでしょうか？PTAの際に「動画を観ることができなかった」という保護者の皆様のご指摘を受けて、櫻田教頭が挑戦した動画配信です。今後もコロナ禍の中ではありますが、児童・保護者の皆さんの安全・安心を最優先しながら、「ピンチをチャンスに変える」、「できない理由ではなく、できる方法を模索し挑戦」していくことを念頭に、教職員で取り組んでまいります。これからも動画のメッセージにありますよう「高梨っ子への応援をよろしく願います」

子どもの可能性を大きく伸ばす5つのポイント(パートII)

PTAのオンライン総会の際にお話した、「子どもの可能性を大きく伸ばす5つのポイント」の3つめ「一緒に喜び一緒に感動し、太陽のように暖(温)かく見守る」について掲載します。

・自分一人で靴下を履きたがるのも、お気に入りの歌を何度も何度も聞いたり、ロずさむのも、子どもにとっては全て「学び」なのです。脳科学者の茂木健一郎氏は、「学ぶということは脳にとって最も楽しいことである」と述べています。ですから何かに夢中になっていたり、自分で何かをしようとしているときは、できるだけ子どもの行為や行動を止めず、太陽のように暖(温)かく見守ってください。

・ほめたり、何かができたことを一緒に喜び、一緒に感動したりすることで、子どもの脳内にドーパミンが分泌され、「もっとやってみよう!」が出てきます。何かにチャレンジしたり、やり遂げようとしていたりしているプロセスを見守ってくれている存在がいることは、子どもにとって力強いものです。

・親の先回りは「過干渉」にもつながります。親としてよかれと思ってやってあげていることが、結果的には子どもの成長を阻害してしまうことになるのです。つい口や手を出したくなりますが、そこはグッと我慢です。自らやろうとしている、子どもの意欲を尊重して最後まで見守ってあげましょう。そして、やり遂げることができたら、思う存分ほめてあげてください。

1つめの「無条件の愛を与え、子どもを尊重して育てる」、2つめの「子どもの中に必要な力があると信じる」については、総会資料をご覧ください。

「自己肯定感を育てる最強の子育て」参照

☆5日は「こどもの日」です。お子様の健やかな成長を心より、お祈りいたします。

「高梨小学校職員一同」

